



くにさきオリーブだより

15年目を迎えた くにさきオリーブ



「大分の空むさし」にある
7年生のオリーブの木



援農ボランティア
ありがとうございました！



安岐中央小5年生の
オリーブ授業



令和4年度収穫量
3.8tでした！

国東オリーブは、国東市合併記念品目として導入され、雨が少ない瀬戸内式気候を活かし、平成20年度から本格的にオリーブ栽培を開始しました。※

他の果樹と比べてオリーブは比較的育てやすいですが、防除を怠ってしまうと枯れてしまいます。また防除の他、いくつかのポイントをおさえて育てていくと上手く実をつけ、将来的に出荷を視野に入れた栽培が可能です。そこで主に苗木を購入された方を中心に、オリーブ栽培のポイントなど年間を通してお伝えすることを目的とした「くにさきオリーブだより」の発行を初めることにいたしました！栽培をはじめとしたオリーブに関するお役立ち情報などを発信していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします！！

園芸畜産係 後藤紫文/オリーブ専門員 上田啓太/地域おこし協力隊オリーブ普及員 吉田裕美

※くにさきオリーブは、生産者31戸、栽培面積 約31.7haを栽培しています。(令和3年度)

要必須

防除の時期です!!

近年、温暖化の影響等で、オリーブアナアキゾウムシが12月上旬まで活動することが確認されています。11月～12月に生まれた幼虫は、オリーブの幹内部で越冬して、翌年の4月以降に成虫となります。

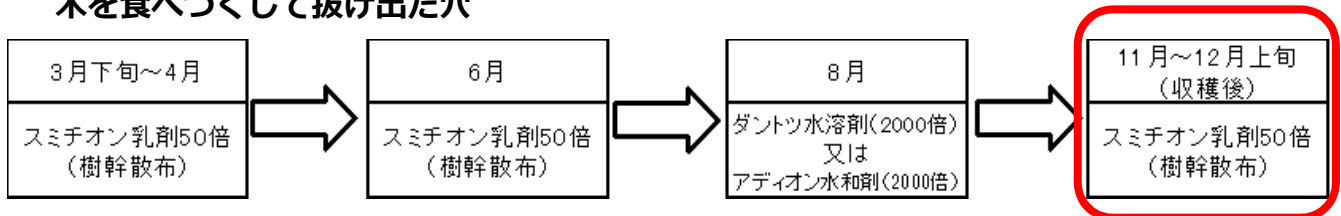


! オリーブアナアキゾウムシ



ゾウムシが大量に入り、木を食べつくして抜け出た穴

従来の4・6・8月のスミチオンだけの防除では対応できなくなりつつあります。8月はダントツ水溶剤、もしくはアディオン水和剤を2000倍で樹の全体に散布して、スミチオンは11月（収穫後）に使用しましょう。



オリーブで樹が枯れる原因の9割がオリーブアナアキゾウムシです。防除をしてない園地や、回数が足りない園地ではほぼ確実に被害を受けます。ゾウムシの防除さえできれば、樹が枯れる可能性を大幅に減らすことができます。



年間を通して防除講習会を行っています。その時々で新しく使いやすい防除薬を使用し紹介しています。開催の際は、是非ご参加ください。
(封書にて案内)

援農ボランティア（収穫・選果） 延べ40名の皆様にご参加いただきました！！

（10/14・19・20・11/3）

「オリーブ援農（収穫・選果）ボランティア」を開催しました。国東市からの参加者をはじめとし、遠方は大分市や臼杵市からもご参加いただきました。予想を上回り大盛況となったため、急遽、開催場所を追加するという大変有難い出来事もありました。全日晴天に恵まれ、開催を無事、終了することができました。参加者の皆様へ感謝を申し上げます。また、受け入れくださった園地の皆様、とても暖かく迎え入れていただき、ありがとうございました。



安岐中央小5年生の子供たちにオリーブ授業 (10/31) 収穫体験&搾油場見学 (11/7) の社会体験を行っていただきました。



10/31：国東オリーブの基本知識からスタートし、オリーブの実を潰してオイルが出来るところまですべて手作業で行っていただきました。実を潰す作業に苦戦し、途中袋が破けてしまうというハプニングもありましたが、オリーブの実から約10%程度しか取れない貴重なオイルということを実感することができました。

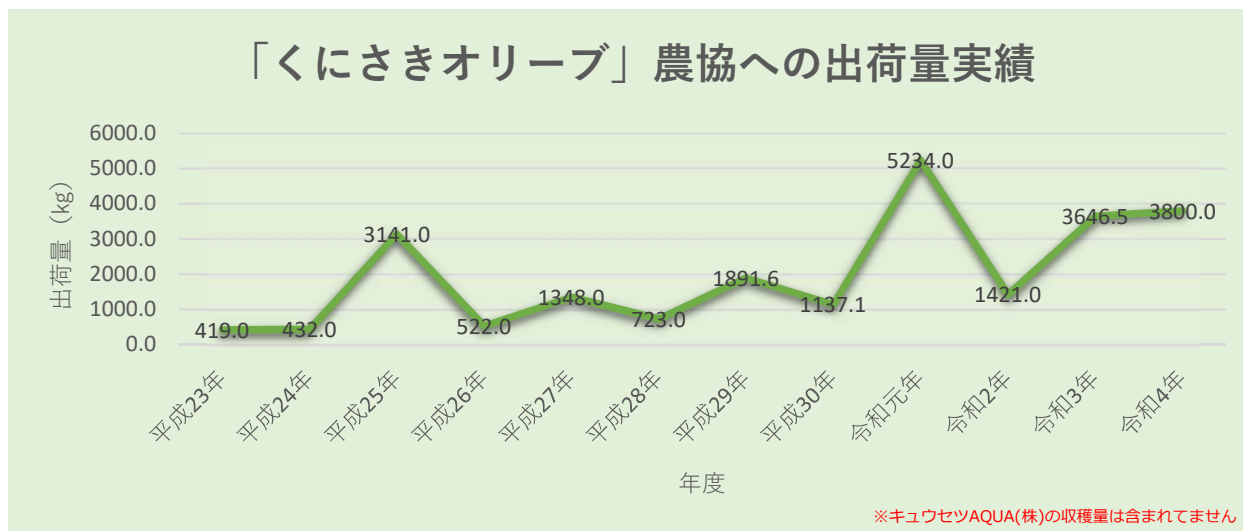
11/7：収穫体験を「里の駅ふるさと市場R213」で行い、JAに移動。オリーブの搾油機からオイルができるまでの製造工程を見学しました。

最後は、希望者に国東オリーブオイルのテイスティングにも挑戦してもらい体験は終了しました。子供たちのキラキラした眼差しで授業を受けている姿がとても印象的で心がほっこりしました。この体験を機に、国東オリーブについて、ますます興味を持っていただけると嬉しいです(^^)♪

今回の社会体験でご協力くださった皆様へ感謝いたします。

令和4年度出荷が終了しました。

農協への総出荷量 3,800kg※



オリーブは収穫量が多い表年、少ない裏年を交互に繰り返す傾向が強く、昨年が表年でしたので今年は裏年の予測でした。しかし、開花量は多く、開花時の気候が安定していたため、収穫量が大きく増えた園地が複数あったことで、昨年を超える収穫量となりました。



1,000本近く倒伏したキユセツAQUA(株) 園地

9月の大きな台風により、市内で1000本を超える樹が倒れました。本来オリーブは根が浅いので倒れやすいのですが、これ程の被害が出たのは初めてのことです。9割以上の樹が復旧により元の状態に戻りましたが、大事な根が折れてしまい枯れてしまった樹も50本程出てしまいました。特にオリーブアナアキゾウムシの被害を受けていた樹は脆くなっていて、根元から折れてしまいました。また大きな実は傷がつき、オイル用の規格に回さざるを得ない状況が多発し、新漬けの出荷量は過去最低となりました。

近年、実が成らないとお問い合わせを頂く中で最も多い原因が、受粉に必要な品種が枯れたり、生育が悪く花を付けない事になります。品種がラベルの経年劣化で分からなくなっている場合は、ご連絡をいただければ鑑定を行います。

★お知らせ★

剪定講習会、肥料管理について1月に実施しますので日時をお知らせ致します。

曜日、日時、開催場所をずらして3回～4回行います。皆様のご参加、お待ちしております。

国東オリーブPRイベントin 大分空港の開催について



12月12日（月）～25日（日）の14日間、毎年恒例となりました国東オリーブを使った商品のPRイベントを大分空港にて開催いたします!!

2階国内線出発口前に国東オリーブ商品販売の特設コーナーを設け、2023年度新物国東オリーブオイルの販売と試飲体験を行います。



1階足湯コーナーでは12/9～15の7日間、オリーブの葉の足湯が楽しめるオリーブ湯をどなたでもお楽しみいただけます。

「sky cafe azul」（2階）では、オリーブの塩水漬けを使ったオリーブアイスが販売開始となります。昨年度500食を準備いたしましたが、夏前には売り切れてしまった幻の!?オリーブアイスですがリニューアルして再登場いたします。コロナ規制も緩和されたことから、大分空港では平日でも賑わっているようです。

この機会に一人でも多くの方に

国東オリーブの魅力をお伝えしていきたいと思っております!!



【編集後記】地域おこし協力隊に任命いただいてから3ヶ月が過ぎ、当初目標としていた「くにさきオリーブだより」の創刊号を発刊することができました。これも国東オリーブに携わる関係者皆様のおかげです。ありがとうございます。

また今後、内容を充実させたものに作りあげていくよう、努めさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

地域おこし協力隊 オリーブ普及員 吉田裕美

